

平成30年（2018年）第3回町田市議会 定例会 建設常任委員会

【件名】町田市立陸上競技場観客席増設について

1. 趣旨・背景

2018年第1回町田市議会定例会において、本年度当初予算に計上した「観客席増設実施設計委託料」に係る整備工事費の「町田市負担」予定額が未だ過大であり、市民に理解を得る情報提供の徹底と最大限に町田市負担の圧縮を求めるとの附帯決議を受けました。このことを受けまして、課題解決に向けた取り組みについて、報告するものです。

2. 課題解決に向けた取り組みについて

（1）整備工事に関する情報提供について

町田市立陸上競技場観客席増設整備事業につきましては、市民の皆様に理解をいただけるように、2018年5月から町田市ホームページに事業目的や基本設計概要を掲載し情報提供を図ってまいりましたが、さらに理解を深めていただくため、2018年6月と8月に工事費削減の方策、交通アクセスの改善、F C町田ゼルビアの地域貢献などの情報を追加いたしました。また、2018年7月1日号の広報まちだにおいても事業目的及び効果などの情報提供を行いました。

今後も引き続き、事業の進捗に合わせて町田市ホームページや広報まちだなどにより情報提供を行い、事業への理解を深めていただくよう対応してまいります。

（2）整備工事費の町田市負担分の圧縮について

① 国、東京都、関係団体等の各種補助金等の探求

町田市立陸上競技場観客席増設事業に補助金等を活用できるように、2019年度の東京都予算の要望にあたり、制度改正を含め既存施設の改修に対する支援を要請いたしました。今後も引き続き、東京都等に対して財政支援を要請いたします。

② 当該サッカーチーム運営会社の興業主としての努力（資金面等）勧奨

F C町田ゼルビアは、これまでに集客や交通アクセスの改善、経済振興などに取り組んでおりますが、2018年7月21日のホームゲームでは、スポンサーと協力してマッチデーを開催し、7千人以上の集客を図りました。また、交通アクセスの改善としまして、2018年8月には、新たに多摩境駅からなどの臨時シャトルバスの運行を試行いたしました。

今後も引き続き、F C町田ゼルビアに対して、集客や交通アクセスの改善などの取り組みに加え、さらなる対応を図るよう要請してまいります。

③ 民間資本（スポンサー増強、ネーミングライツ等）の活用

現在、ふるさと納税の活用に向けて準備を進めており、遅くとも２０１９年度から募集を開始いたします。また、ネーミングライツにつきましても、２０１９年度の公募に向けて、事例調査などを実施しております。

今後も引き続き、民間資本の活用を検討してまいります。

④ 当該事業における費用対効果を最大限にする投資額の適正化

整備費については、現在行っている実施設計のなかで引き続き適正化に努めております。

また、整備した町田市立陸上競技場を最大限に有効活用するため、スポーツの主催団体にアプローチし、２０１８年度においては、ラグビーのトップリーグの試合を８月と１１月に開催することになりました。今後も引き続き、集客力のあるスポーツやイベントの誘致に努めてまいります。